

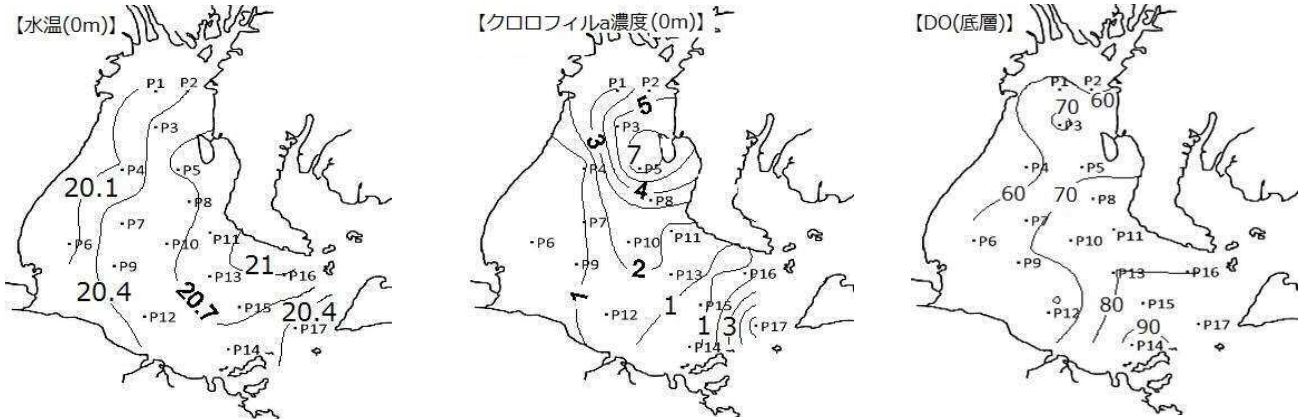
海況情報

愛知県水産試験場漁業生産研究所

【内湾観測結果（調査日：10月22～23日）】

平成26年10月24日

表層水温は、三重県側で20℃台前半、知多半島側で20℃台後半から21℃台でした。クロロフィルa濃度は中部国際空港周辺と湾口部で高くなっていました。DOは60～90%で、貧酸素水塊は解消していました。



【鉛直分布（調査点：P1～P17）】

水温は表層で20℃台、底層で21℃台でした。気温の低下とともに、表層水温が低下しています。湾奥部から空港沖(P1～P5)で表層の塩分が低く、クロロフィルa濃度が高くなっており、河川水の流入により植物プランクトンが増殖していると考えられます。また、湾口部のクロロフィルa濃度の高い水塊(P17)は、三河湾から流出したものと考えられます。下層ほど密度が大きく、成層しており、上層では湾口向き、下層では湾奥向きのエスチュアリー循環が認められます。

